

地質調査平面図

凡 例		
種 別	名 称	備 考
■	切土	
■	盛土	
—	切盛ライン	
—	関連区域	
—	開発区域	

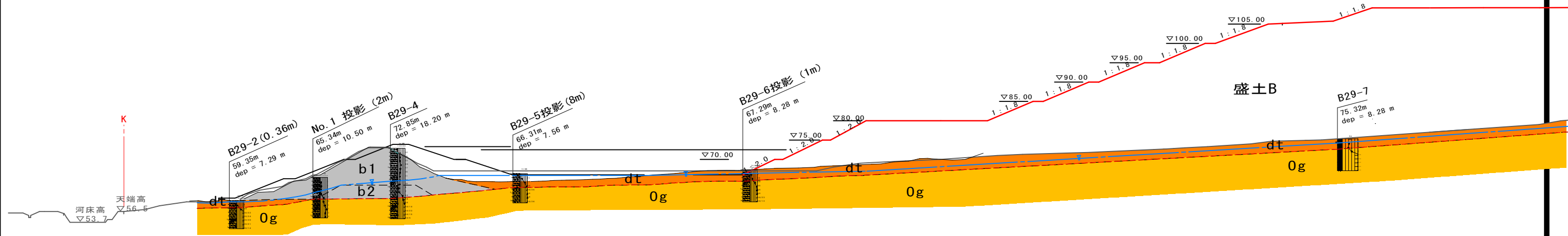
凡 例	
●	H28 土質試験試料採取位置
■	H29 土質試験試料採取位置
●	H29 ボーリング調査位置
●	H28 ボーリング調査位置
—	大規模盛土解析断面

工事名	
図面名	
年月日	
尺度	
会社名	
事務所名	

大規模盛土解析断面図① S=1:1000

＜宅盤盛土の仕様＞
盛土材：現地発生材（性状は室内土質試験結果参照）
一層の仕上り厚：30 cm以下
締固め度：90%以上を確保

凡 例	
b	盛土
dt	崖錐堆積物
Tm	中位段丘層
Th	高位段丘層
Os	大阪層群(砂層)
Og	大阪層群(礫層)
---	地層境界
- - -	支持層
▽	水位
●	土質試験



工事名	小野市市場地区詳細設計業務委託		
図面名	大規模盛土解析断面図①		
年月日			
尺度	1:1000	図面番号	図之内
会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	兵庫県 北播磨臨海建設事務所		

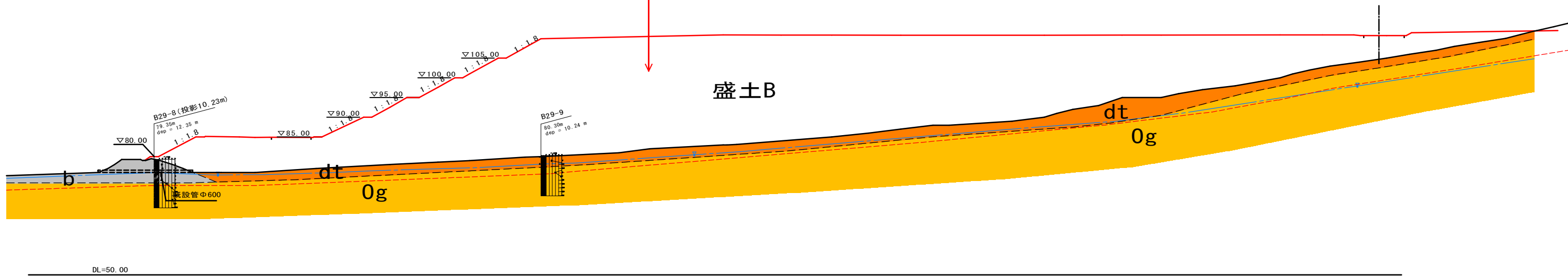
大規模盛土解析断面図② S=1:1000

凡 例

b	盛土
dt	崖錐堆積物
Tm	中位段丘層
Th	高位段丘層
Os	大阪層群(砂層)
Og	大阪層群(礫層)
---	地層境界
- - -	支持層
▽	水位
●	土質試験

＜宅盤盛土の仕様＞

盛土材：現地発生材（性状は室内土質試験結果参照）
一層の仕上り厚：30 cm以下
締固め度：90%以上を確保



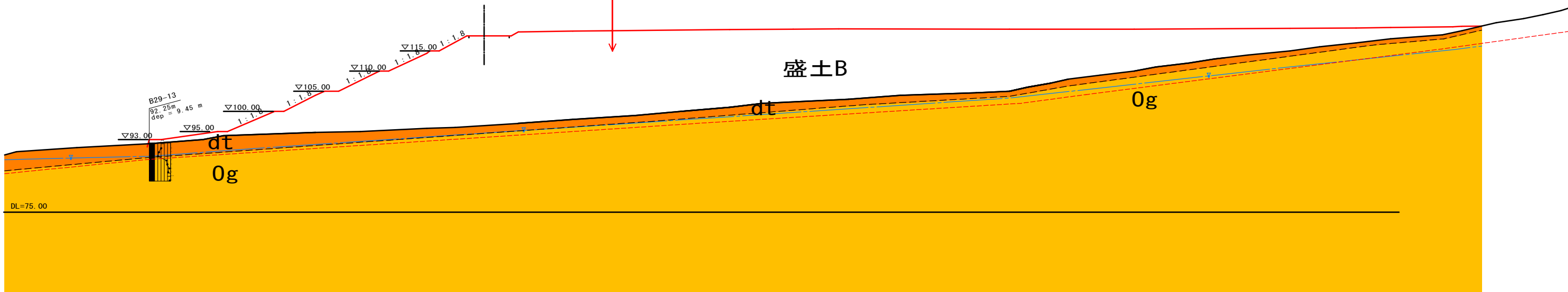
工事名	小野市市場地区詳細設計業務委託		
図面名	大規模盛土解析断面図②		
年月日			
尺度	1:1000	図面番号	図之内
会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	兵庫県 北播磨臨海建設事務所		

大規模盛土解析断面図③ S=1:1000

凡 例

b	盛土
dt	崖錐堆積物
Tm	中位段丘層
Th	高位段丘層
Os	大阪層群(砂層)
Og	大阪層群(礫層)
---	地層境界
- - -	支持層
▽	水位
●	土質試験

<宅盤盛土の仕様>
盛土材：現地発生材（性状は室内土質試験結果参照）
一層の仕上り厚：30 cm以下
締固め度：90%以上を確保



工事名	小野市市場地区詳細設計業務委託		
図面名	大規模盛土解析断面図③		
年月日			
尺度	1:1000	図面番号	図之内
会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	兵庫県 北播磨臨海建設事務所		

ボーリング柱状図

調 査 名 兵庫県企業庁新産業団地基本設計 地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2			調査位置		兵庫県小野市市場地区					北緯		34° 49' 53"			
発注機関						調査期間		平成 28年 11月 21日 ~ 28年 11月 22日				東経		134° 57' 46"		
調査業者名	株式会社 オオバ 電話 (06-6228-1352)			主任技師		現代場人		コ鑑 定 者		佐々木一真		ボーリング責任者		柴 始		
孔口標高	H=97.46m	角 180° 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機 SH-50				ハンマー落下用具		半自動落下装置				
総掘進長	10.08m					エンジン NFAD-5				ポンプ		CP-50				

[illegible]

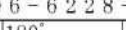
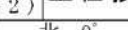
ボーリング柱状図

調査名 兵庫県企業庁新産業団地基本設計 地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 4			調査位置			兵庫県小野市市場地区					北緯		34° 49' 54"					
発注機関							調査期間		平成 28年 11月 14日 ~ 28年 11月 16日					東経		134° 57' 38"			
調査業者名	株式会社 オオバ 電話 (06-6228-1352)			主任技師				現 場 代 理 人				コ 鑑 定 者		佐々木一真		ボーリング 責 任 者		柴 始	
孔 口 標 高	H=130.16m		角 	方 	地盤 勾 配 	使用 機 種	試 錐 機					SH-50		ハンマー 落下用具		半自動落下装置			
総掘進長	23.44m						エ ン ジ ン					NFAD-5		ポ ン プ		CP-50			

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験(月日)	掘進日
									深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値		深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料採取番号		
									0 10 20 30	10 20 30	10 20 30	0 10 20 30 40 50 60							
1							GL-0.50mまで腐葉土、有機物。		0.15	2	3	3	8						
2							φ2~20mmの亜円~亜角礫主体、白色の礫多く、指で崩せるほど脆い(くさり礫)。細~中砂混入。赤褐色の粘土分を全体に混入。		0.45	5	5	5	15						
3									1.15				15						
4									1.45										
5							GL-4.00m以深より、黄褐色。φ2~30mmの亜円~亜角礫主体。		2.15	6	6	5	17						
6									2.45				17						
7									3.15	4	4	4	12						
8									3.45				12						
9									4.15	3	4	4	11						
10									4.45				11						
11									5.15	4	3	4	11						
12									5.45				11						
13									6.15	3	4	5	12						
14									6.45				12						
15									7.15	5	4	5	14						
16	114.16	16.00	16.00				GL-7.00~10.50m間、粘土分多くなる。		7.45				14						
17									8.15	3	4	4	11						
18	111.66	2.50	18.50						8.45				11						
19									9.15	3	4	4	11						
20									9.45				11						
21									10.15	3	3	4	10						
22									10.45				10						
23	106.72	4.94	23.44						11.15	5	5	6	16						
									11.45				16						
									12.15	2	4	6	12						
									12.45				12						
									13.15	3	4	5	12						
									13.45				12						
									14.15	4	5	5	14						
									14.45				14						
									15.15	5	5	5	15						
									15.45				15						
									16.15	11	13	14	38						
									16.45				38						
									17.15	16	11	11	38						
									17.45				38						
									18.15	7	9	11	27						
									18.45				27						
									19.15	11	11	13	35						
									19.45				35						
									20.15	11	15	16	42						
									20.45				42						
									21.15	11	12	16	39						
									21.45				39						
									22.15	13	17	20	50						
									22.43				54						
									23.15	13	15	22	50						
									23.44				52						

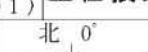
ボーリング柱状図

調 査 名 北臨調（小野）第8号小野市市場地区詳細設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名 高盛土

シートNo

ボーリング名	B29-7			調査位置	兵庫県小野市山田町					北緯	
発注機関	兵庫県企業庁北播磨・臨海建設事務所				調査期間	平成29年7月31日～29年8月1日				東経	
調査業者名	大日本コンサルタント株式会社 電話(06-6121-5501)		主任技師	宮下孝文		現場代理人	橋本英二	コ 鑑 定 者	橋本英二	ボーリング 責任者	堀田敦
孔口標高	75.32m	角  度	方  向	地盤  勾配	使用機種	試錐機	東邦地下工機 D0-D		ハンマー 落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	8.28m					エンジン	YANMAR NFD10-K		ポンプ	YANMAR EP70	

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 北臨調（小野）第8号小野市市場地区詳細設計業務委託

ボーリングNo								
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 高盛土

シートNo

ボーリング名	B29-9		調査位置		兵庫県小野市山田町						北緯							
発注機関	兵庫県企業庁北播磨・臨海建設事務所				調査期間		平成29年8月10日～29年8月17日				東経							
調査業者名	大日本コンサルタント株式会社 電話(06-6121-5501)		主任技師		宮下孝文		現代場人		橋本英二		コ鑑定者		橋本英二		ボーリング責任者		上福元修	
孔口標高	80.30m	角 180° 上 90° 下 0° 度	方 北0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 鉛直 水平0° 90° 40°	使用機種	試錐機		東邦地下工機 D0-D				ハンマー落下用具		半自動落下装置				
総掘進長	10.24m					エンジン		YANMAR NFD10-K				ポンプ		YANMAR EP70				

[illegible]

■室内土質試験結果（地上サンプリング）

試料試験番号			土質試験①	土質試験 S-1
地質			大阪層群（砂礫）	段丘堆積物
一般	土粒子の密度 ρ_t g/cm ³		2.664	2.664
	自然含水比 ω_n %		15.8	27.5
粒度	石分（75mm 以上） %		2.6	
	礫分（2～75mm） %		33.8	40.6
	砂分（0.075～2mm） %		22.5	16.2
	シルト分（0.005～0.075mm） %		14.4	11.4
	粘土分（0.005mm 未満） %		29.3	31.8
	最大粒径 mm		(95)	53
	均等係数 U_c		—	—
	50%粒径 D_{50} mm		—	0.38
	20%粒径 D_{20} mm		0.0014	—
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %		48.3	—
	塑性限界 w_p %		22.7	—
	塑性指数 I_p		25.6	—
	コンシステンシー指数 I_c		1.3	—
分類	地盤材料の分類名		粘性土質 砂質礫-R	粘性土質 砂質礫
	分類記号		(GCsS-R)	(GCsS)
締め固め	試験方法		A-b	B-b
	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³		1.654	1.591
	最適含水比 w_{opt} %		18.5	19.6
コンデンソメ指数	突固め回数 回/層		55	—
	コーン指数 q_c KN/m ²		2100	—
せん断	試験条件		CD	CD
	全応力	c KN/m ²	5	25
		ϕ°	30.0	29.4